

広島県建設工事入札参加資格における CPDS の評価について

広島県管理総室建設産業室 入札制度グループ

むらかみ ひろゆき

主任 村上 裕之

趣 旨

広島県においては、土木施工管理技士の継続的な専門教育に対する取り組みを評価するため、社団法人全国土木施工管理技士会連合会が運営する土木施工管理 CPDS システムにおける学習単位数を平成15・16年度の入札参加資格において、新たに主観的評価の項目に追加した。

新たに評価項目とした理由

次の2点において、主観数値に適していることによる。

- (1) 土木施工管理技士は、県発注工事の大部分を占める土木一式、とび土工などで配置技術者となれる国家資格者であることから、多くの建設業者を評価対象とできること。
- (2) 土木施工管理CPDSは、最も早期に設けられた継続教育制度であり、他の研修と比べて教育カリキュラムおよび単位認定の仕組みが明確であり、また特定の協会等の会員に限らず、土木施工管理技士であれば、単位取得が可能であること。

格付総合数値への配点

入札参加資格審査は、経営事項審査の結果（客観点数）と県が発注した建設工事の完成工事成績、県の指名除外の状況を主観点数として点数を算出し、両点数を合計して総合数値を算出することによって行っているが、平成15・16年度の入札参加資格から ISO9000認定取得、CPDS システムにおける学習単位数を新たに主観点数の項目に追加した。

《土木施工 CPDS 学習単位数の配点》

～企業ごとに合計した学習単位数を次の表に当てはめて配点（ただし、土木施工管理技士か施工技術者とならない業種（建築一式、電気、管、造園等を除く。））

学習単位数	配点
80以上	10
60以上80未満	8
40以上60未満	6
20以上40未満	4
1 以上20未満	2

入札参加資格における CPDS の状況

(15.4.1現在)				
	資格者数	単位取得数	最高数	最小数
全資格者	4,079者	463者	99単位	2単位
うち県内業者	3,288者	477者	99単位	2単位